

## 添付資料 1 用語の定義

本要求水準書において使用する用語の定義は、次のとおりとする。

- (1) 「運営開始」とは、施設の利用者が供用を開始することをいう。
- (2) 「法令」とは、法律・政令・省令・条例・規則、若しくは通達・行政指導・ガイドライン、又は裁判所の判決・決定・命令・仲裁判断、その他公的機関の定める一切の規程・判断・措置等をいう。
- (3) 「不可抗力」とは、暴風、豪雨、洪水、高潮、雷、地滑り、落盤、地震その他自然災害、又は戦争、テロリズム、放射能汚染、火災、騒擾、騒乱、暴動その他の人為的な現象の他、疫病や感染症等のこれら以外の事由のうち、通常の見可能な範囲外のもの（入札説明書及び設計図書で水準が定められている場合にはその水準を超えるものに限る。事業者が、善良な管理者の注意義務を尽くしても回避できない第三者による損害を含む。）であって、本市又は事業者のいずれの責めにも帰すことのできないものをいう。ただし、法令の変更は、「不可抗力」に含まれない。
- (4) 「自主事業」とは、事業者が本施設の集客力や魅力の向上に資する事業として、本施設等の一部を有効活用した独立採算事業を、本施設等の運営・維持管理に支障のない範囲で実施するものをいう。
- (5) 「提案施設」とは、余熱利用施設や公園施設、新ごみ処理施設との連携・相乗効果が見込める機能を、本施設としての役割を充足する機能等を有する施設として本事業の予定価格の範囲内で本施設内に提案し、その整備を行うことができるものをいう。
- (6) 「付帯施設」とは、本施設の整備・運営等に係る事業の実施に資するものを、公園施設の設置管理許可により事業者が独立採算で行う施設をいう。
- (7) 「付帯事業」とは、付帯施設にて実施する事業をいう。
- (8) 「設計図書」とは、要求水準書に基づき、事業者が作成する基本設計図書、実施設計図書その他本施設の設計に係る一切の書類をいう。
- (9) 「施工計画書」とは、事業者が作成する本施設等の建設工事等に係る施工手順及び施工方法を記載した書類をいう。
- (10) 「完成図書」とは、事業者が作成する本施設の竣工に伴う一切の書類をいう。
- (11) 「点検」とは、建築物・設備等の部分について、損傷、変形、腐食、異臭、不具合その他の異常の有無を調査することをいい、保守又はその他の措置が必要か否かの判断を行うことをいう。
- (12) 「日常点検」とは、目視、聴音、触接等の簡易な方法により、巡回しながら日常的に行う点検をいう。
- (13) 「定期点検」とは、当該点検を実施するために必要な資格又は特別な専門的知識を有する者が定期的に行う点検をいい、性能点検、月例点検、シーズンイン

点検、シーズンオン点検及びシーズンオフ点検を含めていう。

- (14) 「保守」とは、点検の結果に基づき建築物等の機能の回復又は危険の防止のために行う消耗部品の取替え、注油、塗装その他これらに類する軽微な作業をいう。
- (15) 「修繕」とは、建築物等の劣化した部分若しくは部材又は低下した性能若しくは機能を原状又は実用上支障のない状態まで回復させることをいう。
- (16) 「更新」とは、劣化した部位・部材や機器等を新しいものに取り替えることをいう。
- (17) 「清掃」とは、汚れを除去すること及び汚れを予防することにより仕上げ材等を保護し、快適な環境を保つための作業をいう。
- (18) 「警備」とは、施設内における盗難等の事故の発生を警戒し、防止する業務をいう。